

令和8年7月7日

関係機関の長 殿

国立大学法人鳥取大学農学部長  
明石欣也 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

下記により、本学部の教員を公募いたしますので、関係各位に周知方よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 公募する職と人数

教授 1名

2. 所属

附属フィールドサイエンスセンター フィールド活用部門 施設園芸学教育研究分野

3. 応募資格

(1) 以下のような作物学に関する教育・研究に熱意を持って取り組めること

- ① 葉菜類を中心とする蔬菜の養液栽培技術開発
- ② 蔬菜等の園芸作物の施設栽培における高品質栽培技術の開発
- ③ 蔬菜栽培に関する高度な実習教育

(2) 鳥取大学農学部教員選考基準(資料1)を満たしていること。

(3) 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科修士課程が担当できること(資料2)。

(4) 全学共通科目・一般教養科目(生物学)を担当できること。

(5) 教育職員免許状関係授業科目(生物学・生物学実験演習)を担当できること。

※資料1、2は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして下さい。

(<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

#### 4. 担当授業科目等

(1) 学 部：担当教育コース 植物菌類生産科学コース

蔬菜園芸学Ⅰ、Ⅱ、農業基礎演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（分担）、植物菌類生産科学基礎演習（分担）、農業演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ（分担）、植物菌類生産科学英語Ⅰ、Ⅱ、生命環境農学演習Ⅰ、Ⅱ、植物菌類生産科学グローバル演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ（分担）、先端農学研究Ⅰ、Ⅱ（分担）、卒業研究、教育職員免許状関係授業科目（生物学実験演習）、全学共通科目・一般教養科目（生物学）等

(2) 大学院：持続性社会創生科学研究科博士前期課程農学専攻

施設園芸学教育研究分野

圃場管理学特論（分担）、生命環境農学特論Ⅱ（分担）、農学特別演習Ⅰ、Ⅱ等

#### 5. 契約期間・待遇

(1) 任期を定めない。

(2) 年俸制（ただし、応募時点で鳥取大学職員給与規程の適用を受けている大学教員の方について引き続き同規程の適用を希望することも可能です。）

※ 本学の定年は65歳です。給与、勤務時間、休日及び保険等については、本学の規程に基づき決定します

(参考) 鳥取大学年俸制教員給与規程

[https://www.tottori-u.ac.jp/kouhou/kisokusyuu/reiki\\_honbun/u095RG00000655.html](https://www.tottori-u.ac.jp/kouhou/kisokusyuu/reiki_honbun/u095RG00000655.html)

(参考) 鳥取大学職員就業規則

[https://www.tottori-u.ac.jp/kouhou/kisokusyuu/reiki\\_honbun/u095RG00000319.html](https://www.tottori-u.ac.jp/kouhou/kisokusyuu/reiki_honbun/u095RG00000319.html)

※年俸制に関してご不明な点は下記にお問い合わせください。

担当：総務企画部人事課給与係

TEL：0857-31-5014

E-mail：[ge-kyuuyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp](mailto:ge-kyuuyo@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

#### 6. 提出書類

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| (1) 履歴書（記入要項参照）                  | 1 通   |
| (2) 調査書（記入要項参照）                  | 1 通   |
| (3) 調査書に挙げた著書、原著論文および総説の別刷（複写も可） | 各 1 部 |
| (4) 主要研究業績の概要（2,000 字程度）         | 1 部   |
| (5) 教育研究に対する抱負（1,200 字程度）        | 1 部   |

(6) 推薦者がある場合は推薦書

1 通

※記入要項は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして下さい。

(<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

7. 応募締め切り

令和8年9月7日(月) 必着

8. 選考方法

書類選考の後、最終候補者にプレゼンテーションと面接を行います。なお、面接等に伴う旅費・宿泊費等は各自で負担をお願いいたします。

9. 採用予定年月日

令和8年12月1日

10. 書類送付先及び問い合わせ先

〒680-8553

鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター フィールド活用部門

施設園芸学教育研究分野教員 予備選考委員長 野波 和好

電話：0857-31-6056

E-mail：k\_nonami@tottori-u.ac.jp

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留等でお送り下さい。

11. その他

鳥取大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

また、鳥取大学及び鳥取県は家族を大切に、働きやすい環境づくりを進めています。

- ・鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室

URL： <https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>

- ・鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター

URL： <https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/worklife/>

- ・鳥取県の「子育て王国とっとりサイト」

URL： <https://www.kosodate-ohkoku-tottori.net/>

付記)

1. フィールドサイエンスセンターはフィールド教育部門、フィールド活用部門、森林管理部門の3部門で構成されています。フィールド教育部門は、農業生産の基礎となる技術・技能教育を進めるとともに、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理に関する実践と教育を担います。フィールド活用部門は、学びのキャンパスに隣接する農場という地の利を活用しながら、地域特産物の栽培技術の高度化、新品種の開発、農作業の軽労化など、地域、特に、中山間地が抱える問題の解決に向けた教育と研究を行います。森林管理部門は、特色ある4つの教育研究林を活用し、森林生態系を健全な状態に維持・管理するとともに、附属菌類きのこ遺伝資源研究センターとの連携を強化し、森林の多面的機能の高度発揮と森林管理技術に関する教育と研究を行うこととしています。

2. 農学部生命環境農学科には教員組織として生命環境農学講座があり、学科の教育コースとして国際乾燥地農学コース、里地里山環境管理学コース、植物菌類生産科学コース、農芸化学コースの4つのコースがあります。

植物菌類生産科学コースは次の教育目的と教育目標を掲げています。

**【教育目的】**

持続性のある農業生産を行うためには、生物資源を発掘し育種する基礎的な知識・技術を習得し、高度な生産技術開発を行える人材が必要不可欠です。本コースでは、附属フィールドサイエンスセンターにおける広大な農地・森林や附属菌類きのこ遺伝資源研究センターの膨大な遺伝資源を最大限に活用し、専門家・技術者として生産現場で活躍できる人材を養成します。

**【教育目標】**

- 1) 植物および菌類の生理・生化学、遺伝学、分類・生態学および農業機械学の理論と手法を修得し、問題解決能力を養います。
- 2) 生産現場の要求を解決するための、作物栽培、育種、園芸、作物保護の理論と技術を修得し、広い視野と指導力を養います。
- 3) 菌類きのこ等の微生物の多様性を理解し、それを発掘・改変するための理論と技術を修得し、高度利用するための研究開発能力を養います。

3. 将来的にカリキュラム・教育コースを再編した場合は、担当講義・担当教育コースが変更となる場合があります。

4. 本学科の教員は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科、山口大学大学院創成科学研究科のそれぞれの博士前期課程（修士課程）

によって編成される鳥取大学大学院連合農学研究科において、博士課程の教育・研究指導も担当しています。

以上